定型業務の自動化に向けたＯＣＲ・ＲＰＡソフトウェア導入業務に係る受託候補者特定基準

評価項目		評価基準	配点	採点方法
１ 総論			8	以下の基準に基づき、１～４の４段階で提案を評価する。 ４：特に評価が高い。（配点×4/4） ３：評価が高い。（配点×3/4） ２：普通である。（配点×2/4） １：評価が低い。（配点×1/4）
①	実施方針等	実施方針が当該業務で実施しようとしている内容と一致しており、スケジュールや実施体制が当該方針に沿ったものとなっているか。	4	
②	実績	ＲＰＡ導入に当たり十分な実績を有しているか。	4	
２ ＯＣＲ			20	
①	帳票読取設計	帳票読取の設計方法及び設計変更方法は、職員が操作しやすい容易なものとなっているか。	4	
②	読取結果の管理	読取結果の確認・修正は、迅速に行えるものであり、職員が作業しやすいものとなっているか。	8	
③	読取精度	手書文字の識字率が職員の負担軽減が期待できるものとなっているか。	4	
④	処理速度	次年度以降の対象業務拡大を見据え、ＯＣＲによる１枚当たりの読取処理速度が速いものとなっているか。	4	
３ ＲＰＡ			16	
①	ソフトウェアの操作性等	使用するＲＰＡソフトは、シナリオの作成・修正・管理が容易なものか。	8	
②	ソフトウェア機能	本業務の導入・展開計画を踏まえ、ソフトウェアの機能が充実しているか。	8	
４ 適用業務の選定			12	
①	適用業務の選定	適用業務の選定に当たり、その手法が合理的なものとなっているか。また、職員の負担がかからない手法となっているか。	12	
５ 研修			8	
①	研修	シナリオの管理者及び利用者に対する研修について、学習効果が期待できるものとなっているか。	8	
６ 支援体制			12	
①	ＯＣＲ・ＲＰＡ運用体制構築支援	運用体制構築支援について、具体的な内容が記載されており、効果的なものとなっているか。	4	
②	導入後の支援体制	導入年度及び次年度以降の支援体制が充実したものとなっているか。特にシナリオ管理体制構築支援について、具体的な提案があり、その内容が効果的なものとなっているか。	8	
７ その他			4	
①	独自提案	仕様書に記載していない、業務の効率化に向けた提案がなされており、その内容が効果的なものか。	4	
８ 費用			20	最も安価な価格を提示したものを満点とし、それ以外の者については、「計算配点×最低価格/提示価格（小数第2位以下切捨て）」とする。
①	導入年度の費用	導入年度の費用は、安価なものとなっているか。	8	
②	次年度以降の費用（運用・保守費用）	保守やライセンス料など、本業務において構築したＯＣＲ・ＲＰＡの稼働を維持するために最低限必要な費用は、安価なものとなっているか。	8	
③	次年度以降の費用（追加費用）	読取結果の確認・修正及びシナリオ作成・実行環境が増加する場合に、ライセンス料の増加など追加の費用が発生するか。	4	発生しない場合：4点 発生する場合：0点
計			100	